

る穀耕作と同じような農法で、特別な種実圃場で、個体生産本位の栽培で、良い子孫への種実を生産するようにしなければならぬ。

そしてこの良い子孫への種実生産の最適条件は、集団生産を目的とする草作の最適条件とは符合一致しない点のあることから、種実生産地と草生産地とは、必ずしも一致しないのである。

日本では草生産を振興するため、いろいろ施策しなければならぬが、いつまでも外来種子に依存するような不利を打開して、有利でしかも有益な新興農作として、良草及び牧草の種子生産を振興したいものである。日本農家では、草生産振興の草地農法には、経験が乏しいのであるが、種子生産のような耕地農法では、きわめて優秀な技術や深い経験があるので、牧草種子の特性さえ理解されたなら、恐らく外国種子に劣るとも劣らぬような種子生産が勃興し、国内の需要を充すばかりでなく、現に世界的に進んで、東洋諸国にも勃興しようとしている草生産時代に臨んで種子輸出の進路が開拓されるであろう。

花卉、果樹、蔬菜など、著しく進展して、その栽培が振興したように、牧草作ということが農業上で重要な位置を占める時代がくると、必ずやその種子生産が進展するであろうと予想される。そうなると園芸作物などに比べ、範囲が広く、経済的価値が高いだけに、この業態の展開が重視される時代がやつてくるだろうと期待している。

(草地農業の権威ある提唱者、札幌市在住)

先般茨城県開拓連の御招きに応じて、茨城県の極一部の開拓地の酪農地帯を大急ぎで廻ったが、多大の収穫を得られたのでその一端を述べて参考に供したいと思う。

一 穂波開拓農協

常盤線土浦附近の水稻は真に豊作で金色に輝く穂波を渡る秋風も快い。開拓のS氏と共に水戸より車を駆って、ここ穂波開拓農協を訪れた。雪たね同友会員の平田氏や組合長の荒井氏と懇談する。この組合は水田単作で、平田氏はこれに家畜を導入すべく懸命な研究をしておられる。目下バーケンヤー種の種豚一頭、母豚二頭と仔豚を数頭飼育、宅地の節約を考え二階建の畜舎を設け豚舎の二階には白色レグホンが百羽余り飼われている。豚用には小型サイロが二基設置せられサツマ諸島を詰める準備中であった。

穂波開拓はその名通り見渡す限り黄金の穂波で今年の豊作を示しておる。ここは千拓地で入植以来今年で八九年を数え、土地改良も進展したが有機質の補給が急務であろうと思われた。

平田氏は今年度の未曽有の豊作に安心せず、地力の維持増進について多大の関心を

安孫子六郎

開拓地の酪農地帯を歩いて —茨城県土浦より新利根へ—

寄せておられ、既に入植時に比して地力の減耗しつつあるを認めこれが対策として、

どうしても家畜を導入しなければならぬと力説されて来たことは卓見と思う。土地が疲れ果ててからでは遅い。今から十分地力の培養に心掛けることが急務であろう。広い農道や、用水路の堤塘も草生改良を行い、乾田化されたところには赤クロバー、レンゲ、を半湿田にはアルサイクやイタリアン等を導入するようにお話ししたところ、早速種子の手配を依頼され、その実行力の旺盛なのは驚いた。畑は二三反あるが歩いて四五十歩の距離にあり、甘藷や野菜を作付けしておられるとのこと。穂波開拓も水田の裏作が完成し、有用牧草類が作られ家畜が増殖せられ、よい堆肥が増産されるならば、米の収量は更に増加することであろう。

現在豚一頭を仕上げるのに二万円位の購入飼料を要するようだが、こんなことでは前途が暗い。平田氏も、自分は種豚をやつしているので何とかやって行けるが、一般組員の方々は更に良いとの事で、今年の陸稻でこれ程見事な陸稻は知らない。いや從来各地で永い間に見た陸稻中でもこれ程立派な出来は見たことはない。その他各種の作物も実によい。除草の徹底して気持よい圃

の研究こそ緊急を要する問題である、と燃ゆるような熱情を示された。

やがて乳牛が導入される日も遠くないと思う。かくして水田の地力も倍加し、食生活も改善せられ、健康で明るい文化的な農村生活が建設される日を念願して、時間を急ぐままに再会を約して別れを告げた。

二 新生開拓組合

この組合は開拓地における組合としては余りにも有名で紹介する必要もない位であるが名実共に立派なので少しく触ることにする。

組合長の戸谷さんは満洲以来の旧知の間柄であつたが、訪ねたのははじめてであつた。ここに来て先ず驚くことは総ての作物が立派な出来栄であることだ。組合長の外に名刺には書き切れぬ程の公職のある戸谷さんではあるが、丁度日曜日なので住宅せられ、大根の間引を五年生位の坊ちゃんとやつておられた。

この開拓地は畑作灌漑が実施されている。

穂波開拓はその名通り見渡す限り黄金の穂波で今年の豊作を示しておる。ここは千拓地で入植以来今年で八九年を数え、土地改良も進展したが有機質の補給が急務であろうと思われた。

増産の要諦もある、水田有畜化のため草

また見事で、しかも戸谷さんだけではなく殆ど全部が同じ様によく出来てゐるのには全く敬服した次第である。

勿論作物の良いのは、試みに用水路の堤に立つて見ると左は開拓地、右は古村の熟煙であるが、普通常識的に開拓八年目位の圃場が古村の永年培つた圃場に勝ることは無いのであるが、ここは全く逆で実に立派である。耕地一町六反を一区とし、これを二二反五畝死に整然と区割り、防風林が設置せられ正しい輪作が行われ、乳牛三頭（将来は四頭）豚（繁殖豚）二頭、鶏五十羽前後が飼われ、しかも必要な自給飼料烟がある。戸谷さんのラデノクロバーは一区二反五畝で現在までに（九月十八日）七回程刈取つたが、六〇〇貫程の収穫があつた由、戸谷さんのラデノクロバーは既に七〇八寸伸びて次回の鎌入れを待つてゐる。今年は旱魃で各地ともクロバー類の成績は香しくないといふのに新生開拓のラデノの素晴しさは又格別である。戸谷さんの乳牛は六一石擣つて近く又仔牛が生れる由、各戸の牛の毛艶のよいことも如何に飼料が合理的に与えられているかがうかがえる。牛舎、堆肥舎、鶏舎も小さい乍ら適当に整つておる。ただ住宅がこれに比して貧弱に見えたのは入植八年にして無理のないことで、すべて牛産一途に集中され、着々成果を挙げておられるのであるから奥ゆかしく思われた。住宅も日ならずして立派になることと思う。遙かにトラクターのエンジンが快いリズムで豊穣の秋空に響いている。玉蜀黍跡の大

大きい新利根の堤防を走つて新利根開拓組合に到着する。事務所の前からその周辺は一杯にラデノクロパー、空地は勿論玄関口までラデノクロパーである。

組合長の上野さんはじめ役職員の方々に迎えられ挨拶より先ず二階に昇つて開拓地の展望である。干拓地で僅か数年の歴史より無いこの開拓地には共同搾乳場と共同堆肥場が建ち、関東には珍らしい地上式サイロが聳えておる。ここも豊穣、重く垂れる稻穂の下には既に赤クロパー、イタリアンライが中播きされ、農道にはケンタッキーのフエスクが植えられている。目の届く限りの稻穂の波は黄金色に輝きその株元には

時間が少ないので案内の開連のSさんが運転手を急がせる。田の面に溢れる稻穂の中を疾走する車窓から展望されるものは穂波又穂波で早生稻は刈取られ架にかけられ、稻束を車に積む農民の顔も明るく、糺の野良着の娘さんのすげ笠の赤い紐も秋陽の生えとして映えていた。

三 新利根開拓組合

酪農ブーム以来開拓地や古い農村にも深山の牛が導入されて居るが、これ程整とんして無駄なく飼料作物が導入されてその効果を挙げているところは少ないとと思う。新生開拓組合がよい成績を挙げていることを仄聞しておるが故なきに非ずと痛感した。

深耕をしている由。数年前に植えた粟が今年はよく稔つて穀が割れてセビア色に光つた大きな実がこぼれていた。豊かな開拓地、胸一杯に何か迫つてくるような大地の底力を誇るるのであつた。

を守り立てて行く熱情には感激を久しく述べた。

新利根の堤防も一部草生改良が行われ、赤クロバーやオーチャード、ケンタッキー31フェスク等を栽培されているが、南面している堤塘は今年の旱魃で稍衰弱しているところもあつた。今秋から更に大々的に草生改良を実施されるそうである。上野さはじめ役職員と組合員の一丸となつて組合

既に冬作として良草が芽生えている。水田
単作地帯であるが、宅地の一部だけは野菜
とともに飼料畑が設けられ、デントコーン
を四~五度に亘つて播いて乳牛に給与さむ
ている。

赤クロバ、イタリアンライ等を利用して
グラスサイレージを実施している。真に
卓見と言うべきで堤塘に遊ぶ牛群も頗る健
康に見えた。ここではアルサイククロバ
も栽培したが、ラデノの方が成績がよい由
またイタリアンの水田裏作は実によく山
來ると承つた。

堅忍不拔の精神と努力が短年月の間にこ
れ迄の成果を挙げているのである。立地
条件は必ずしも良くないこの土地に、人の
和と努力だけがこれだけ立派なものに成し
遂げるのであろう。新利根開拓は完成した
のではない、言わば始まりであるけれど、
これだけ周到な計画と実行力が伴なつてお
れば前途洋洋たる発展は期待して差支えな
いと思う。

着々として実行され、真剣に行われて、まるで上野さんを中心としたスクラムの固さと同じ上野さんを中心としたスクラムの強さをしみじみと感じた。本当に敬意を表せばには居られない。擁護する研究として団結の強さをしみじみと感じた。

牛を共同搾乳場に集めて搾乳、共同の堆肥舎、共同のサイロ等よく気を合わせてこぢりあつたと思う。筆者も半生を開拓地で済んだ者で自分の体験からも驚嘆すべき事は多

である。これによつて労力を省き、能率を高め、各種の改善事業に全力を尽しておる。地味必ずしも良好ならず、干拓地を生

31 フエスクが植えられている。目の届く限りの稲穂の波は黄金色に輝きその株元には

稲穂の下には既に赤クロバー、イタリアンライが中播きされ、農道にはケンタッキー

肥場が建ち、関東には珍らしい地上式サイ
口が聳えておる。ここも豊穰、重く垂れる

迎えられ挨拶より先ず二階に昇つて開拓地の展望である。干拓地で僅か数年の歴史より無くこの開拓地は共同窄乳糖と共に司催

口までラデノクローバーである。
組合長の上野さんははじめ役職員の方々に

大きい新木戸の堤防を走って新木戸開拓組合に到着する。事務所の前からその周辺は一杯にラデノクロバー、空地は勿論玄関

の野良着の娘さんのすげ笠の赤い紐も秋陽に生生として映えている。

波又穂波で早生稻は刈取られ架にかけられ、稻束を車に積む農民の顔も明るく、辯

時間が少ないので窓口の開通のとき人が運転手を急がせる。田の面に溢れる稲穂の中を疾走する車窓から展望されるものは穂

仄聞しておるが故なきに非ずと痛感した。

果を挙げているところは少ないと思う。新生拓組合がよい成績を挙げていることを

山の牛が導入されて居るが、これ程整とんして無駄なく飼料作物が導入されてその効

酪農ブーム以来開拓地や古い農村にも深底力を感ずるのであつた。

金は、一冊一冊が書物で、何冊か売れていた。豊かな開拓地、胸一不二河か迫つてくるような大地の

深耕をしている由。数年前に植えた栗が今

(雪印種苗・千葉農場長)